

令和4年度対エルサルバドル共和国 草の根・人間の安全保障無償資金協力 「タクバ市エル・チャグイテ村飲料水供給計画」 引渡し式



2023年5月9日、有吉勝秀駐エルサルバドル日本国大使は、タクバ市役所カルロス・ミラ市長、ラ・エスペランサ村落開発協会マルビン・ベロン会長及び裨益住民等とともに、「タクバ市エル・チャグイテ村飲料水供給計画」の引渡し式を行いました。本計画にかかった総費用は304,563.68米ドルで、日本からの支援総額は146,950.00米ドルです。

本計画は、アウアチャパン県タクバ市エル・チャグイテ村ラ・アングストゥラ地区に住む350人以上の住民及び公立学校に、水汲みの重労働を強いることなく安全な水を提供することを可能とし、住民の健康および生活環境の改善に寄与します。



「タクバ市エル・チャグイテ村飲料水供給計画」引渡し式の様子



この地区では現在に至るまで、飲料水の供給がありませんでした。そのため、住民は、飲料水・生活用水を得るために、毎日がめを持って、状態の悪い未舗装の道を3時間以上も歩かなければなりません。経済的に余裕のある家庭では、水を運ぶための馬を手に入れ、川まで行く時間と労力を減らす努力をしましたが、日々の労働が減ることはなく、困難な日常を過ごしていました。しかし、本案件が完了したことで、よりよい生活環境を得るといふ住民たちの夢が実現しました。

ラ・エスペランサ村落開発協会は、同地区住民と協力し、タクバ市役所に飲料水供給のための事業の実施を求めました。そして市役所と共に、当館の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の支援を求め、飲料水供給計画の実現に向けて働きかけました。



「タクバ市エル・チャグイテ村飲料水供給計画」案件サイト



実施前：毎日1~3時間かけて歩き、水汲みを行っていました。



実施中：全住民が一丸となり、本計画に取り組みました。



実施後：全住民の住居に快適に飲料水・生活用水が供給されています。



本案件が完了したことで、自宅に快適に水の恩恵を受けることができるようになり、とても満足しています。

日本政府やタクバ市役所、そして私たち自身の努力で、生活環境が改善され、今まで水汲みに費やしていた時間を、家族のためや農作業に充てられるようになりました。

日本政府及びタクバ市から受けた支援に感謝しています。

ウンベルト・ディアス
エル・チャグイテ村住民



エル・チャグイテ村が、タクバ市役所と協力し、本案件を完成させたことに、心からお祝いを申し上げます。

エルサルバドルと日本は88年もの間、友好の絆で結ばれています。太平洋を隔ててはいますが、日本がエルサルバドルの隣国であるということを感じてみてください。

本日、市長及び市役所職員の皆様、当地区住民の皆様とともに、この案件の引渡し式を祝うことができ、誇りに思います。

駐エルサルバドル日本国大使
有吉 勝秀



今日は、エル・チャグイテ村にとって、飲料水供給計画が現実となったとても大切な日です。長年にわたり、私たちは多くの努力、信念、忍耐を強いられてきましたが、今はこの偉大な成果を目の当たりにしています。

神様、そして日本大使館が本案件実施を支え、最後まで成し遂げることができました。その支援に心から感謝します。ありがとうございます。

タクバ市長
カルロス・ミラ



今日、私たちが計画した案件が完了したことについて、まず神様に感謝したいと思います。また、本案件実施のために、すべての支援をくださったカルロス・ミラ市長、そして、私たちの要望に耳を傾け、何よりも尽力してくださった日本大使館に感謝します。私たちは、日本を長年の友人であると感じています。

ラ・エスペランサ村落開発協会会長
マルビン・ベロン

在エルサルバドル日本国大使館が「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を通じて実施しているこれらの案件は、「人間の安全保障」の概念である「人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り

それぞれの持つ豊かな可能性を実現するために、保護と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え方」のもと、エルサルバドル人、特に国内で最も脆弱な地域の生活環境の質を改善しようと試みているものです。

